



# 日本医療福祉生活協同組合連合会

## 東日本大震災支援ニュース No.39

(2011年4月13日 18時現在)

### 医療福祉生協連からのお知らせ

## 8生協から浜通り医療生協に6tの水を提供していただきました 水の支援要請は一旦中止します

4月12日付東日本大震災支援ニュースNo.38で会員生協の皆様にお願ひしました浜通り医療生協の断水に伴う水支援につきまして、下記の8生協からのお申し出で、6トンの水が確保でき、当座の危機は回避できる見通しです。一旦、浜通り医療生協への水確保の呼びかけを取り止めます。

今後必要となる場合にはご協力をお願いします。

また、今後断水が長期にわたることが想定される場合には別の支援方法も検討します。ご協力いただき、誠に有り難うございました。

#### 【ご支援いただいた生協】

- ・会津医療生協
- ・ながおか医療生協
- ・新潟医療生協
- ・三多摩医療生協
- ・南医療生協
- ・浜北医療生協
- ・岡山医療生協
- ・大分県医療生協

\*医療生協さいたま、乙訓医療生協からも問い合わせをいただきました。

### 被災地の医療福祉生協の状況

#### ○みやぎ県南医療生協



組織部の職員は山元町(写真)の避難所に避難されている顔見知りの高齢者や医療生協の組合員1人ひとりに声をかけながら、前回の訪問時に希望を聞いていた支援物資を届けて回り、健康状態や必要なモノがないかを聞いて回っています。

避難所で不足しているモノは極めて個別的で、1個の爪切りを100人あまりの避難者で使っていて、そのうちどこに行ったか分からなくなることもあります。高齢者の中には「爪が伸びても死ぬことはない」と、平気な顔をしていて3月11日以

来伸びっぱなしという方もいますが、何かの拍子で爪が折れてそこから感染してしまうというケースもあるようです。

車だけが残ったという若い人たちは、昼間は仕事に行って夜は避難所に戻り、食事をしてから車で寝るという生活を続けている方もおり、エコノミー症候群が心配という話もされていました。

(12日付、尼崎医療生協ニュースNo.25より)

## ○松島医療生協

精力的に組合員・地域住民への訪問活動を行っています。松島町 350 件、鳴瀬町 250 件、矢本地 50 件の訪問を行いました (4月8日現在)。

訪問を通して「へドロをはじめとする住まいの片づけが進まない。援助がほしい」「医療機関についての情報がない」「仕事、収入の展望がまったくない。これからどうしたらよいか…」「心身の疲労が蓄積し、足腰の痛みが増している。みなさんが来てくれて3週間ぶりに話ができて笑うことができた」との声が寄せられています。

津波で5台の業務車両が流されましたが、その後3台の車両を入手することができました。往診と訪問看護でさっそく使用しています。

(対策本部ニュース 12日付No.13 13日付No.14より)

## ○浜通り医療生協

小名浜生協病院は水道復旧せず。通所リハビリ岡小名、高齢者住宅岡小名は水道復旧。本日、会津医療生協より水到着予定。

## ○盛岡医療生協

大船渡市、陸前前田市を含む“沿岸被災地”組合員数は1968人です。震災後1カ月経過するものの被災状況全容については把握しづらい状況が続いています。

4月9日から大船渡市盛町、大船渡町、赤崎地域の順に組織的な組合員訪問を開始しました。

川久保病院では1か月で約100名の被災者診察を行っています。

# 支援状況

## ○医療生協さいたま

松島海岸診療所への支援を継続しています。地域訪問に従事した職員からは「聞き取りを通して、地域からの医療生協に対する信頼感と期待の高さ、医療生協という組織の優位性というものを強く肌で感じた」との感想が寄せられています。

## ○医療生協かながわ

現在、看護師1名が宮城県で医療支援に従事しています。4月22日より、病棟看護助手が宮城県に向います。

---

15の支部・班からも義援金が寄せられ、総額290万円を超える義援金が寄せられています。

(4月13日付、ニュースより)

## ○ヘルスコープおおさか

4月13日から第14次救援隊として看護師1名が宮城県塩釜市の支援拠点病院に出発。  
(4月13日付支援活動ニュースNo.12より抜粋)

## ○尼崎医療生協

4月10日から11日にかけて医療福祉生協連近畿ブロックの現地視察を行った福島専務理事の報告をもとに、みやぎ県南医療生協に対して緊急の支援を行うことに。13日の出発で、組合員活動部長を責任者とする3人が車で現地に行き、4月14、15の2日間で、宿泊施設の確保を含む現地の支援（ボランティア）受け入れ体制を確立する。本格的な支援は来週4月18日（月）から開始へ。（救援ニュースNo.26より抜粋）

## ○姫路医療生協

看護師1名、介護福祉士1名が16日に第2次震災支援へ出発。4月12日、医療福祉生協連に50万円の義援金を送金。

## ○ろっこう医療生協

4月12日～15日にかけて常務と組合員活動支援担当の2人が、灘診療所の千葉誠医師の故郷、大船渡に支援入り。また、福島中央市民医療生協へ支援に入った職員1名が、そのまま相馬市に移動し、現地の避難所となっている旧・相馬市立女子高等学校（廃校のあとを避難所に活用）でボランティア活動に。

義援金総額（4月12日現在）

**7340万6895円**（51生協、個人、事業者）

東日本大震災ニュースは月・水・金の発行を基本とします。  
臨時でお知らせする情報があれば随時お届けします。

担当：江本 (at\_e@hew.coop)・丸山 (kj\_m@hew.coop)  
電話：03(4334)1580、FAX：03(4334)1585